

校内研修資料

発達障がいのある子どもの指導や支援に関する

「校内研修プログラム」活用事例集

～「体制づくり」から「指導や支援の充実」へ～



北海道教育委員会
平成27年12月

はじめに

北海道教育委員会では、道内全ての教員が、通常の学級における発達障がいのある子どもへの指導や支援に関する基礎的な知識や技能を習得することができるよう、森町、美唄市、湧別町の3地域計8校のモデル校の取組をもとに、プール学院大学の松久眞実准教授の御助言を踏まえ、「校内研修プログラム」（以下、本プログラムという）を作成し、平成27年3月に道内すべての幼稚園、小・中学校、高等学校に配布しました。

その後、道内の各学校に対し、本プログラムの活用状況を把握したところ、多くの学校で活用していただいている一方、

- 活用する研修シート試案に偏りがあること
- 活用する時間の確保が難しいこと
- 年間を通した計画的な取組が少ないこと
- 地域としての活用事例が少ないこと

などの課題が明確になりました。

こうした課題を踏まえ、北海道教育委員会としては、本プログラムが一層活用されるよう、「発達障がい支援モデル事業」のモデル校や協力校及び協力地域、道内の各学校から取組を収集し、

- 全ての研修シート試案の活用
- 短い時間での活用
- 年間を通した計画的な活用
- 地域としての活用

について、顕著な活用事例を「校内研修プログラム活用事例集」としてまとめました。

本事例集が、道内の全ての教員が、通常の学級における発達障がいのある子どもへの指導や支援に関する基礎的な知識や技能を習得するなど、特別支援教育の専門性の一層の向上の一助となることを期待します。

平成27年12月

北海道教育庁学校教育局特別支援教育課長

小原 直哉

発達障がいのある子どもの指導や支援に関する基礎的な知識や技能を習得するための

校内研修プログラム～「体制づくり」から「指導や支援の充実」へ～

研修の項目	研修のねらい	研修の内容	研修の形態の例
これまでの各種調査結果等で明確になった課題から、「研修の項目」「研修のねらい」を設定しています。		「研修の項目」「研修のねらい」に基づいて、「研修の内容」を設定しています。	教職員全員で実施する「全体研修」のほか、校内委員会や学級経営等の交流会としての実施、職員会議終了後や、学年・ブロック等で短い時間で実施する「ミニ研修」などが考えられます。
Ⅰ 発達障がいの特性の理解や実態把握、支援方法の検討	◇発達障がいのある子どもの学習の困難さを体験し、その心理や教師の指示の在り方を考える。	Ⅰ－１ 発達障がいの特性の理解	○ミニ研修、校内委員会（疑似体験） ○全体研修（疑似体験）（講師を招聘した講義や演習）
	◇実態把握や支援方法を検討し、指導や支援の留意点を考える。	Ⅰ－２ 実態把握、支援方法の検討	○ミニ研修、校内委員会（実態把握や支援策の検討） ○全体研修（講師を招聘した心理検査の講義等）
Ⅱ 個別の指導計画や個別の教育支援計画	◇個別の指導計画の一部を作成し、書き方を考えるとともに、指導や支援の見通しをもつ。	Ⅱ－１ 個別の指導計画の作成	○ミニ研修、校内委員会（事例に基づいた書き方の演習） ○全体研修（講師を招聘した講義や演習）
	◇個別の教育支援計画について保護者の理解や同意を得るための説明や相談の仕方を考える。	Ⅱ－２ 個別の教育支援計画の作成	○ミニ研修、校内委員会（保護者への相談の演習） ○全体研修（講師を招聘した講義や演習）
Ⅲ 環境づくり ※ここでいう「学級づくり」とは、学級集団の形成に向けた取組のことをさしており、「授業づくり」とは、授業の準備や授業の実際のことをさしています。	◇通常の学級における発達障がいのある子どもへの配慮を含めた学級づくりの取組を交流し、指導上の課題や解決の方向性を整理する。	Ⅲ－１ 学級づくり ① 指導や支援 ② 教師の言葉がけ ③ 障がいの理解	○ミニ研修、校内委員会、生徒指導交流会（交流、演習） ○全体研修（講師を招聘した講義や演習）
	◇通常の学級における発達障がいのある子どもへの配慮について考え、授業づくりで心がけていくことを整理する。	Ⅲ－２ 授業づくり	○ミニ研修（ビデオ研修、指導案検討や模擬授業、授業研究） ○全体研修（ビデオ研修、指導案検討や模擬授業、授業研究）
	◇学校全体で取り組む発達障がいのある子どもへの指導や支援の在り方を検討する。	Ⅲ－３ 校内の連携	○ミニ研修（学年やブロックによる検討） ○全体研修（講師を招聘した講義や演習）
Ⅳ 個別の指導や教育支援の実際	◇個別の指導計画をもとに、支援の改善やその質の向上について考える。	Ⅳ－１ 個別の指導計画の活用	○ミニ研修、校内委員会（学年やブロックによる検討） ○全体研修（講師を招聘した講義や演習）
	◇個別の教育支援計画を活用した次の校種（進路先）への引継ぎの仕方について考える。	Ⅳ－２ 個別の教育支援計画の活用	○ミニ研修、校内委員会（学年やブロックによる検討） ○全体研修（講師を招聘した講義や演習）
Ⅴ 参考	◇知りたい内容について、参考資料を活用し、研修を深める。	Ⅴ－１ 参考資料の活用	○ミニ研修（参考資料や参考文献の読み合わせ）（研修成果の検証） ○全体研修（参考資料や参考文献の読み合わせ）（研修成果の検証）
		Ⅴ－２ 研修成果の検証	

- 研修内容ごとに、「研修シート(試案)」がありますので御活用ください。
- 本プログラムは、「発達障がいのある子ども」だけでなく、学校として特別な教育的支援が必要と判断した子どもへの指導や支援の充実にも活用できるものです。
- 道内のすべての教員が、支援が必要な子どもの困難さの背景を読み取り、保護者の心情に寄り添いながら、指導や支援の質を高めていけることを願っています。

「校内研修プログラム」活用事例集・目次

1 学校の活用事例

(1) 研修シート試案の活用

【事例 1】	発達障がいの特徴を理解するために	(高等学校)	1
【事例 2】	実態把握と支援方法を検討するために	(小学校)	3
【事例 3】	個別の指導計画を作成するために	(中学校)	5
【事例 4】	個別の教育支援計画の作成を目指して	(中学校)	7
【事例 5】	学級づくりの配慮を充実させるために	(小学校)	9
【事例 6】	好意に満ちた言葉がけとするために	(高等学校)	11
【事例 7】	保護者に理解を深めるために	(幼稚園)	13
【事例 8】	授業の配慮を充実させるために	(高等学校)	15
【事例 9】	校内の連携を確認するために	(小学校)	17
【事例 10】	個別の指導計画を見直すために	(幼稚園)	19
【事例 11】	個別の教育支援計画の活用を目指して	(幼稚園)	21
【事例 12】	研修成果の検証	(小学校)	23

(2) 短い時間での活用 25

【事例 13】～【事例 20】

(3) 年間を通した計画的な活用

【事例 21】	すべての研修内容を取り扱った事例	(幼稚園)	28
【事例 22】	「学級づくり」を中心とした事例	(小学校)	30
【事例 23】	「授業づくり」を中心とした事例	(小学校)	32

2 地域での活用事例

【事例 24】	幼小中の合同研修の事例	34
【事例 25】	地域の幼稚園の合同研修の事例	35
【事例 26】	市の特別支援連携協議会の事例	36
【事例 27】	市のコーディネーター研修の事例	37